

第10次中期経営計画

瀬戸信用金庫は地域から信頼され、地域に貢献できる金融機関であり続けたい。

I【目指す姿】(ビジョン)

「地域とともに」

～いつでもあなたのパートナー～

II【重点課題】

良質な金融サービスの提供

収益力の強化

職員の能力向上と組織の活性化

業務運営体制の強化

内部管理の徹底

III【重要施策】

内部管理の徹底

経営の透明性の向上、経営の健全性の確保、内部管理態勢の整備等を図っていくことにより、安心できる金融機関として、信頼度を高めていきます。

- リスク管理の高度化
- サイバーセキュリティの強化
- コンプライアンスの醸成
- 経営管理態勢の強化

収益力の強化

法人、個人のお客さまのニーズに的確に対応することで、収益向上につなげていきます。余資運用については、分散投資やリスク・リターンのコントロールにより運用効率を高めていきます。

- 貸出金利息収入の増加
- 余資運用収入の増加
- 手数料収入の増加
- 経費の削減

良質な金融サービスの提供

職員のスキルアップ、商品設計・サービスの充実に積極的に取り組み、お客さまのニーズに的確に対応します。

- 幅広い情報の収集
- 地域創生への貢献
- 中小企業支援(事業性評価)
- コンサルティング機能の充実強化
- 資産運用・資産形成
- 新商品・新サービスの提供

業務運営体制の強化

店舗戦略やBPRで着実に効果・成果を出し、今後の営業力強化へ展開します。

- 店舗の見直し(サテライト化・統廃合)
- 営業店・本部の体制見直し
- 業務の見直し、効率化
- IT戦略の強化

職員の能力向上・組織の活性化

本部・ブロック・営業店の連携を密にし、円滑・効果的な業務推進を行うとともに、お客さまの相談に対して的確に応えられる専門力を身に付けることで「現場力」を強化します。

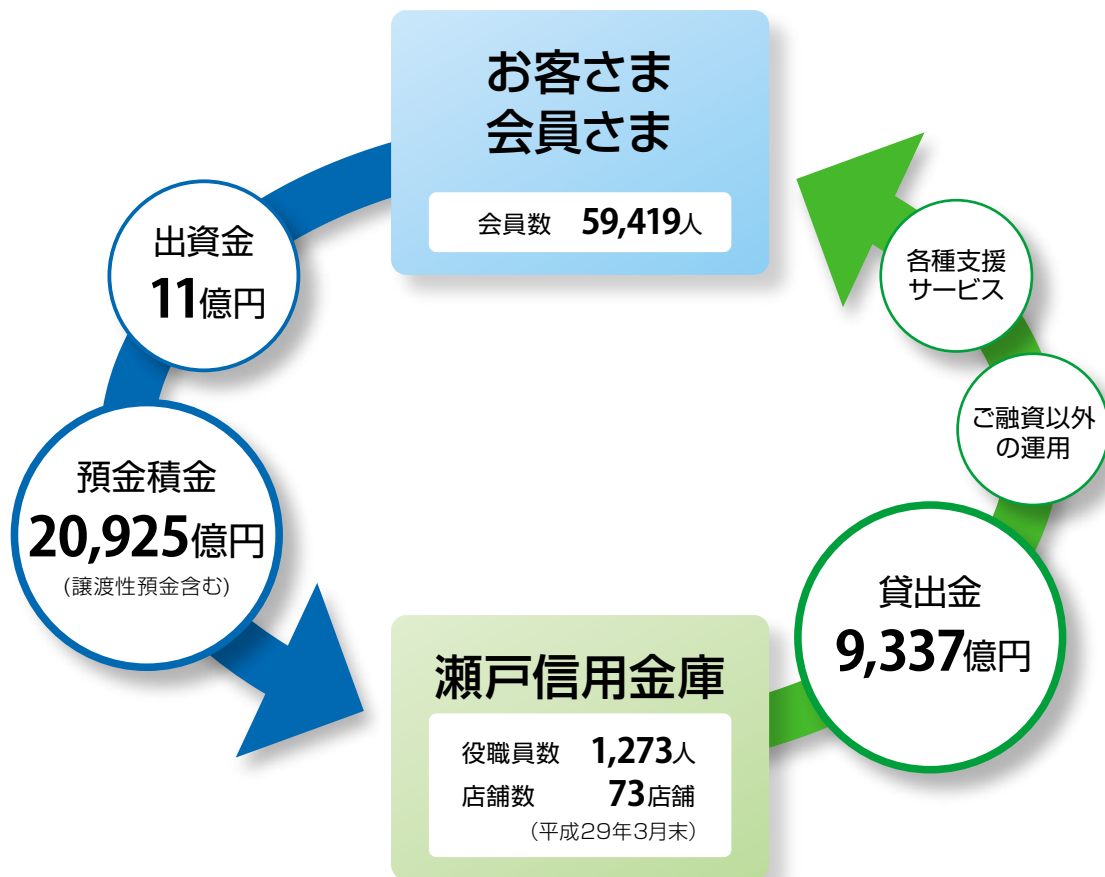
- 営業力の強化
- 女性職員の活躍促進
- 人材育成(専門人材)
- 人事制度・評価制度の見直し

当金庫は地域社会の発展に貢献していきます。

■ せとしんの取組み

当金庫は瀬戸市、名古屋市を中心とする愛知県の尾張東部を主な営業地域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている協同組織の地域金融機関です。

地元の皆さまからお預かりした大切な資金は地元で資金を必要とするお客さまに融資を行い、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまと強い絆とネットワークを形成し、さまざまな情報やサービスの提供により地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった幅広い分野で地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



預金に関する事項

地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、お客さまのニーズに合った新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貸出金に関する事項

地元のお客さまからお預かりした大切な資金を地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄のために活かすとの方針のもと、会員の皆さまをはじめ多くのお客さまとの取引に徹することが使命であると考えております。

その他運用資産に関する事項

お客さまからお預かりした資金の一部を有価証券等で運用しています。安全性等に留意し国債、地方債を中心に運用しております。

取引先への支援等

●**事業再生に対する支援**
経営サポートグループを設置し、中小企業の再建を支援しており、平成28年度は、経営改善支援の対象先を133先選定、コンサルティング機能を発揮し、14先について改善効果が見られ成果をあげております。

●**地域企業のライフサイクルに対応した支援**
企業の創業期・成長期・成熟期・承継期のそれぞれのステージに応じた経営に関する相談・支援業務を行っております。また、個別企業支援(「点」の活性化)だけではなく、市町村等との連携による地域の持続的成長を視野に入れた、「面」的活性化にも取り組んでおります。

地域密着型金融

■ 地域密着型金融推進計画（平成29年度～平成31年度）

当金庫はお客さまとの密接な関係を活かし、金融の円滑化、課題解決などに向けて、地域密着型金融を推進し、様々な施策に取り組んでまいりました。

今後も、お客さまの経営支援、事業の再構築などに対する提案・支援などに積極的に取り組み、さらに深化した地域密着型金融を目指します。

平成29年度から平成31年度の3か年は「『地域とともに』～いつでもあなたのパートナー～」のビジョンの下、第10次中期経営計画の重点課題として「良質な金融サービスの提供」を掲げ、右記の方針、項目について取り組みます。

1. 基本方針

当金庫は、地域経済の活性化や健全な発展のために、地域の中小企業等への経営サポートをはじめとして、積極的に、地域密着型金融の推進を図ります。

2. 具体的な取組項目

- (1) お客さまへのコンサルティング機能の発揮
- (2) 地域の面的再生への積極的な参画
- (3) 地域やお客さまへの積極的な情報発信

3. 計画期間

3か年

4. 計画の公表

ホームページにて地域密着型金融推進計画の公表をいたします。

■ 地域密着型金融推進計画の取組状況(要約)

■ 1. 平成26年4月～29年3月までの取組状況

- お客さまへのコンサルティング機能の発揮
 - ・ 瀬戸市の創業支援事業「せと・しごと塾」に参画
 - ・ 日本政策金融公庫との共催による「創業塾」を開催
 - ・ 尾張旭市・尾張旭市商工会および日本政策金融公庫との共催で「尾張旭市創業セミナー」を開催
 - ・ 日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、協調支援態勢を構築
 - ・ 経営改善支援先に3年間で延べ2,921回訪問、経営相談、経営指導および経営改善に関するきめ細かい支援を実施
 - ・ しんきん愛知プラットフォーム(ミラサポ)による専門家派遣の活用
 - ・ 円滑な事業承継をサポートするため、愛知県事業引継ぎ支援センターと「業務提携に関する覚書」を締結
 - ・ バンコク駐在員事務所への来所者に対し、現地情報の収集・提供
- 地域活性化等への積極的な参画
 - ・ 瀬戸市と協働して地域の活性化を図るため「地域包括連携に関する協定」を締結
 - ・ 店舗周辺での清掃活動を継続実施
 - ・ 創業期にあるソーシャルビジネス事業者支援を目的に「ソーシャルビジネスサポートあいち」を発足
 - ・ NPO等が地域にもたらす価値を定量化する支援「せとしんプロボノプロジェクト2014」を実施
 - ・ 名古屋商科大学と「事業承継支援等に関する覚書」、名古屋学院大学と「連携に関する協定」を締結
 - ・ 企業内研修として、地元大学より3年間で84名、名古屋学院大学より3年間で外国人留学生6名を受入れ
 - ・ 海外の最新事情視察等を実施

- 地域やお客さまへの積極的な情報発信
 - ・ 新規事業への活用方法や資金調達事例などを紹介する「クラウドファンディング活用セミナー」を開催
 - ・ 訪日外国人旅行者誘致に向けた取組等について説明する「インバウンドセミナー in せと」を開催
 - ・ 成長分野である航空機業界に関心をもつお客さまに対し、「航空機産業セミナー&個別相談会」を開催
 - ・ 瀬戸焼海外販路開拓事業「海外バイヤーマッチング」を開催し、参加事業社12社の輸出商談を支援

■ 2. 計画の達成状況に対する分析・評価および今後の課題

- 計画は、ほぼスケジュール通りに進捗したと認識しております。
- 平成29年度から新たな3か年計画(第10次中期経営計画)「『地域とともに』～いつでもあなたのパートナー～」をスタートさせ、良質な金融サービスの提供などを重要施策として掲げ、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化に資する取組みにより地域密着型金融を推進し、地域社会の発展に貢献してまいります。



梅村拓生 作
陶胎七宝作鳥文壺



太田典典 作
岩絡文片身替扁壺

「コンサルティング・事業再生・経営改善」支援

コンサルティング機能を発揮し、お取引先のライフステージに応じた支援を実施する専門部署として、経営サポートグループを設置しております。

1. 「コンサルティング・事業再生・経営改善」支援に関する取組み

経営サポートグループを中心に、営業店・外部の専門家・外部機関と連携しながらコンサルティング機能を発揮し、お取引先のライフステージに応じた支援を実施しております。経営サポート先に対しては、日常的・継続的な訪問等により信頼関係を構築し、企業の財務情報等を基に各種の問題解決や目標の提案を行っております。また、外部専門家や外部機関、信用保証協会等と連携を図りながら、コンサルティング機能を発揮し支援を行っております。外部機関の利用として、愛知県中小企業再生支援協議会への相談持込や、中小企業者の高度・専門的な課題については「しんきん愛知プラットフォーム」を通じた専門家派遣を行っております。

2. 取組事例

建機レンタルを含む企業で海外事業部門において架空取引が発覚。打開策として野菜事業を計画したが海外現地において同事業の環境が整わず撤退したことも重なり大幅な債務超過に陥りました。親会社も多額の資金拠出したことにより業績不振となり、2社への貸付条件変更の金融支援をしまりました。事業性評価を改めて実施し、親会社が当該地区に必要な不可欠であり、地域社会に貢献できうる企業であると判断いたしました。抜本的な事業再生のため愛知県中小企業再生支援協議会および他金融機関と協議した結果、愛知県中小企業再生3号ファンドを活用した事業再生スキームを策定し取組予定です。今後はファンド運営組合と協調した継続的な支援を行い、事業再生の取組みをしまります。

経営改善支援の取組実績

平成28年度は133先への経営支援に取組み、14先に債務者区分の改善を図ることができました。

【28年4月～29年3月】

(単位:先)

	期初債務者数	うち経営改善支援取組先数	うち期末に債務者区分がランクアップした先数	うち期末に債務者区分が変化しなかった先数
正 常 先	11,237	2		1
要 注 意 先				
うちその他要注意先	2,233	92	14	76
うち要管理先	2	0	0	0
破 綻 懸 念 先	710	37	0	36
実 質 破 綻 先	140	2	0	2
破 綻 先	26	0	0	0
合 計	14,348	133	14	115

経営者保証に関するガイドラインへの取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	28年度
新規に無保証で融資した件数	900件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	4.11%
保証契約を解除した件数	448件

(注) 保証債務整理については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づく申し出はありませんでした。

地域金融円滑化

地域金融円滑化のための基本方針

当金庫は、地域の健全な事業を営む事業者および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

1. 取組方針

地域の健全な事業を営む事業者および個人のお客さまへの安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。私どもは、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客さまの抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組みます。

2. 金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

(1) 態勢整備を図るため理事会等において本基本方針、金融円滑化管理方針および金融円滑化管理規程を策定、金融円滑化管理責任者を選任。

- (2) お客さまへのきめ細かな経営改善支援を行うため、本部の経営サポートグループの機能強化を図り、各営業店には金融円滑化責任者と金融円滑化リーダーを配置。
(3) お客さまの事業価値を見極める能力(目利き力)を向上させる研修等を実施。

3. 他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関からの借入れを行っているお客さまから貸付条件の変更等の申出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認・照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

※お客さまからの貸付条件の変更等に関する苦情相談は、次の相談窓口をご利用ください。

お問い合わせ窓口 瀬戸信用金庫 融資部 苦情相談窓口専用電話 **フリーダイヤル 0120-702-085**

[受付時間] 平日 9:00～17:00 (土・日・祝 信用金庫の休業日は除きます)

事業の概況

事業概況

当金庫は法令等遵守やお客さま保護を最重要とした内部管理態勢の充実・強化を経営の柱とし、業務の適切性確保に引き続き努めました。また、地域金融機関として、地域の企業および地域住民の皆さまの金融ニーズに的確にお応えするため、金融機能の充実、資産の健全性の維持、経営の合理化・効率化に取り組んでまいりました。

内部管理面では、『内部管理基本方針』に則り、当金庫に関わるリスクの識別、分析を行い、業務の健全性・適切性を確保しております。また、主な会議の開催状況は、「理事会」「監事会」「リスク管理委員会」等を定期的に開催しているほか、外部有識者が委員に含まれる「経営・業務委員会」を年2回開催するなど、法令等遵守態勢の確立、健全な業務運営確保に努めました。

昨年10月1日に「営業力強化」「収益力強化」「人材育成」に力を入れていくため組織改革を行い、「営業支援部」を創設して法人営業グループ内に法人営業専門のトータルアドバイザーを配置することにより、各ブロック長および営業店との協働（連携・協調）による営業活動を推進する体制を整備しました。また、審査第一部にある経営支援グループを「経営サポートグループ」とし、これまでの取引先企業の債務者区分のランクアップ支援、ランクダウン回避を主業務としていたものから、事業性評価の取組み、コンサルティング機能の発揮を通じて、企業と一体となって改善・成長・発展に積極的に寄与することで、融資取引基盤の拡充を図る体制としました。

また、中小・零細企業のニーズや課題に応じた融資商品の提供により、中小・零細企業の成長や地域経済の活性化等に貢献するため、「地域活性化サポートローン」の取扱いを11月14日から開始し、地域産業の発展と豊かな活力ある地域社会づくりに努めております。

店舗につきましては、人口増加地域で今後の発展が見込める名古屋市緑区に当金庫73店舗目の鳴海東支店を出店し、店舗網を充実いたしました。今後は店舗統廃合や、サテライト化など効率的な店舗運営を行い、お客さまの多種多様なニーズに対応してまいります。

主要な経営指標の推移

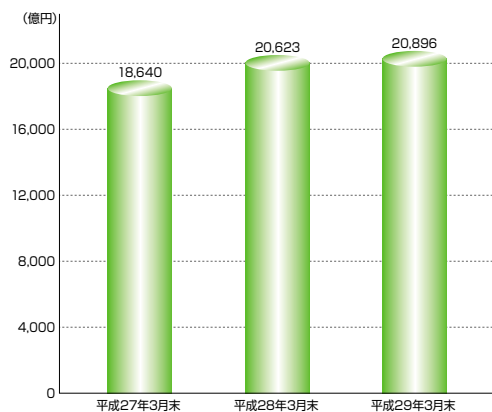
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
業 務 純 益 百万円	4,641	5,594	3,960	4,363	2,773
経 常 収 益 百万円	24,725	27,328	26,333	27,041	23,715
経 常 利 益 百万円	2,826	5,113	4,746	5,075	3,164
当 期 純 利 益 百万円	1,581	3,387	3,586	3,535	1,716
出 資 総 額 百万円	1,192	1,197	1,197	1,196	1,198
出 資 総 口 数 千口	2,384	2,394	2,395	2,393	2,396
純 資 産 額 百万円	111,434	112,144	121,655	129,009	124,809
総 資 産 額 百万円	1,707,010	1,816,003	2,081,455	2,298,519	2,319,934
預 金 積 金 残 高 百万円	1,562,920	1,656,776	1,864,016	2,062,378	2,089,674
貸 出 金 残 高 百万円	757,374	817,285	862,531	906,606	933,765
有 価 証 券 残 高 百万円	631,627	556,089	636,128	719,249	739,073
単体自己資本比率 %	15.49	15.29	15.47	15.36	14.64
出資に対する配当金 (出資1口当たり) 円	35	30	30	30	20
職 員 数 人	1,352	1,351	1,317	1,272	1,260

(注) 単体自己資本比率は、自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成24年度は旧告示に基づく開示、平成25年度以降は新告示に基づく開示を行っております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

■平成28年度の実績

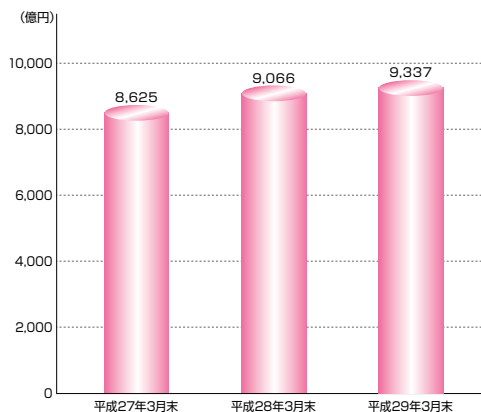
●預積金の実績

地域の皆さまからのご支持により順調に推移し、平成29年3月末の預積金残高は、2兆896億円(前年度末比272億円、1.3%増加)となりました。



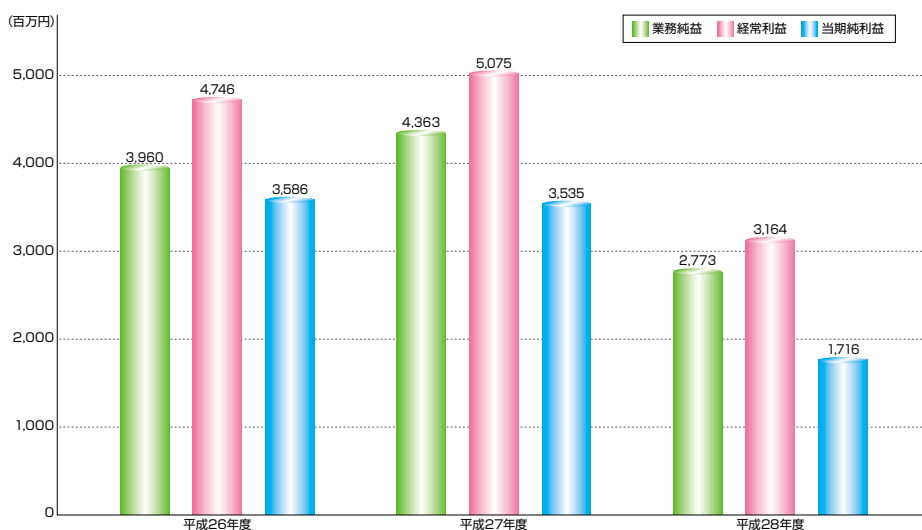
●貸出金の実績

地域のお客さまの資金需要にお応えして、平成29年3月末の貸出金残高は、9,337億円(前年度末比271億円、2.9%増加)となりました。



●損益の状況

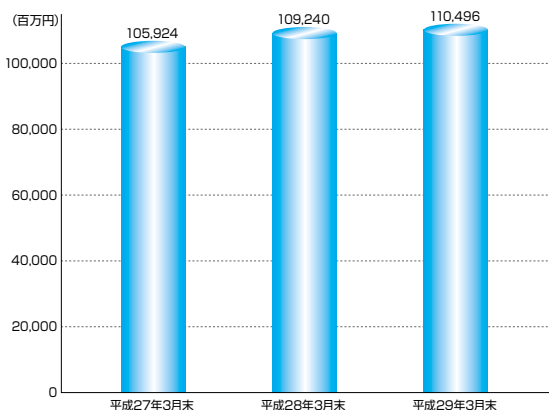
資金調達費用、経費の削減に努めましたが、日銀によるマイナス金利の影響が大きく、貸出金利回りおよび余資運用利回りの低下により、経常利益は前年度末比37.6%減少し、31億64百万円、当期純利益は51.4%減少し、17億16百万円となりました。



●自己資本比率(単体)

自己資本比率は、財務体質の健全性を示す指標で、自己資本比率が高いほど経営が健全で堅実、安定しているとされています。平成29年3月末の当金庫の自己資本比率は14.64%で国内基準の4%を大きく上回る高い水準を維持し続けております。今後もさらに、業務純益の確保により内部留保を積み増し、自己資本を充実させ強い経営体質づくりに努めてまいります。

●自己資本額の推移



●自己資本比率の推移

